

県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

やまなしの戦後美術 四人の革新者たち

山梨ゆかりの現代作家4人に焦点を当て、それぞれの初期作品から近作・新作までを個展形式で展示します。革新的な表現に到達した彼らの独自世界をお楽しみください。

■橋田尚之(1947年～)

東京藝術大学を卒業し、アルミの立体造形を中心に平面作品も制作している造形作家。

■河内成幸(1948年～)

日本版画協会展新人賞を皮切りに国内外で受賞を重ねる。日本の現代木版画を代表する作家。

■松田富彌(1939～2009年)

色絵磁器の人間国宝・富本憲吉に学ぶ。数々の個性的な作品を残した陶芸家。

■深沢軍治(1943年～)

東京藝術大学時代に油彩画と木版画を学び、多様な絵画表現への挑戦を繰り返し行っている革新的な画家。



とうはんしゃ
橋田尚之《登攀者2014》2014年
酸化被膜したアルミニウム、コンテ
約300×200×400cm



深沢軍治(蓋(地上にて))1985年 アクリル絵の具など・木版 182×274cm(山梨県立美術館蔵)

開催期間／9月20日(土)～11月3日(月・祝)
観覧料／一般1,000円、大学生500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

県立科学館

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151
FAX 055-240-0168

プラネタリウム番組

科学館のマスコットキャラクター「カガクスキー」と一緒に、全知全能の大神ゼウスが出すクイズに答えながら、季節の星座について探っていきます。

- 11月30日(日)まで「～パニック☆秋の星座たち～」
- 12月6日(土)から「～走れ☆冬と春の星座たち～」



開催日時／土・日・祝日と冬休み期間の午後1時30分～2時15分
観覧料／大人310円、小・中学生、高校生120円(入館料別途)
幼児120円(入館は無料) ※土曜日は、高校生以下入館無料

県立考古博物館

甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

掘り起こされた音の形 —まつりと音具の世界—

私たちが楽しんでいる音楽は、太古の人々にとって、カミや異界との交流の道具でした。縄文時代から古代の楽器や、音を発する道具など“音の展示”を眺めながら、太古の音の世界に思いを巡らせてみませんか。



六鈴鐘
(國學院大學博物館服部コレクション)



はにわ
弾琴埴輪
(深谷市白山古墳群17号墳)

開催期間／10月8日(水)～11月24日(月・振休)
観覧料／一般・大学生600円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

富士山科学研究所

富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1
TEL 0555-72-6206 FAX 0555-72-6183

国際シンポジウム 安全で快適な 富士登山を目指して

高所での身体の適応能力について講師が説明し、安全で快適な富士登山に向けた情報を発信します。



開催日時／11月15日(土) 午前10時～午後4時30分
参加費／無料



県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

甲斐の黒駒

聖徳太子から武田騎馬隊まで。山梨の馬が歴史を動かした。

山梨の馬(駒)は、古くから名馬のブランドとしてその名を馳せていました。聖徳太子が甲斐の黒駒にまたがって奈良の都から富士山まで飛んだという伝説もあり、有名な武田騎馬隊が生まれたのも名馬の産地であったからこそといわれています。山梨の地に馬がもたらされた古墳時代から今に至る、人と馬の約1500年間の物語をお楽しみください。



黒駒太子像(部分)(山梨県立博物館蔵)



国宝・龍文飾金具(奈良県藤ノ木古墳出土・文化庁蔵)

開催期間／10月11日(土)～12月1日(月)
観覧料／一般500円、大学生250円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

県立文学館

甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

谷崎潤一郎展 文豪に出会う

明治から昭和にかけて、「痴人の愛」「春琴抄」「細雪」など現代に読み継がれる名作を残した文豪・谷崎潤一郎(1886～1965年)。終戦を挟む8年の歳月をかけて完成した「細雪」の下巻には、1942年に松子夫人と河口湖畔の富士ビューホテルに滞在したときの情景が描かれています。原稿、書簡、書画など約120点の資料により谷崎潤一郎の生涯と豊かな作品世界に迫ります。



谷崎潤一郎 渡辺重子宛葉書(表と裏)
1942(昭和17)年9月26日消印(山梨県立文学館蔵)
富士ビューホテル滞在中に、松子夫人の妹・重子に送った



谷崎潤一郎 1949(昭和24)年頃
(写真提供 芦屋市谷崎潤一郎記念館)

開催期間／9月27日(土)～11月24日(月・振休)
観覧料／一般600円、大学生400円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

ジュエリーミュージアム

甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階やまなしプラザ内
TEL 055-223-1570 FAX 055-223-1572

ジュエリーのいろは —【い】“いま”へ続くジュエリーの山梨—

山梨ジュエリーを身近に感じていただくためのシリーズ第1弾。
明治から大正、昭和、平成へと激動の時代の中で進化を続けてきたこれまでの山梨ジュエリーと、より身近なジュエリーを目指すデザイナーや職人たちによる多様な試みの成果としての“いま”の山梨ジュエリー。これら合わせて約40点の展示を見ながら、「山梨ジュエリーの未来」の姿を想像してみませんか？



花形ブローチ 明治中期(山梨大学所蔵)



晶-Shou-(Koo-fu2014) 平成26年
水晶を使用したバングル

開催期間／10月24日(金)～
平成27年2月16日(月)
観覧料／無料